

会 派 名 報告者氏名	社会・みらい 佐藤 正典、星野 幸彦
種 別	<input type="checkbox"/> 調査研究（ <input type="checkbox"/> 行政視察） <input checked="" type="checkbox"/> 研修会 <input type="checkbox"/> 要請・陳情 <input type="checkbox"/> 各種会議
用 務	福島原発震災情報連絡センター主催研修会 福島原発震災情報連絡センター主催被災地スタディツアー
日 時	令和6年5月1日（水）13:30 ～ 5月2日（木）12:00
場 所	福島県いわき市常磐湯本町（研修会場：いわき湯本温泉古滝屋） 福島県双葉郡内（スタディツアー）
調査項目等	<ul style="list-style-type: none"> ・原子力発電所を巡る情勢等について ・福島第一原子力発電所の事故処理の現状と廃炉について ・福島第一原子力発電所の海洋調査等について ・能登半島地震と原子力発電所について
概 要	<p>・福島原発震災情報連絡センターが主催する研修会に参加し、福島原発事故後の福島県の現状について状況把握するとともに、「柏崎刈羽原発の再稼働をめぐる情勢報告（星野幸彦）」及び「柏崎刈羽原子力発電所30km圏内（UPZ）議員研究会の活動報告（佐藤正典）」をそれぞれ発表し、同研修会に参加した地方議員と意見交換等を実施した。</p> <p>現地報告1 原発事故処理の現状と廃炉のゆくえ～被爆労働（■■■■氏） 現地報告2 福島原発沖合の海洋調査（■■■■氏、■■■■氏） 現地報告3 能登半島地震と原発（■■■■氏）</p> <p>・同センターが主催するスタディツアーに参加し、福島原発事故後の被害状況、復興状況について、調査を行った。 大熊町学び舎夢の森～JR大野駅前～富岡町太陽光パネル群～とみおかアーカイブミュージアム～夜ノ森桜二丁目（空き巣被害状況）～小良ヶ浜～慰霊碑</p>
所 感 等	<p>【佐藤 正典】 本研修の目的は、福島原発事故後の現地の詳細な状況を理解し、フクシマの被害の状況を風化させることなく、復興に繋げていくことにある。 一方、現在、再稼働を目指している、柏崎刈羽原子力発電所をめぐる情勢等については、他県（他地域）住民には理解されていないことも多く、原発立地自治体の議員の立場において、他の地方議員と原発政策も含めた、現状や課題を共有し、意見交換できたことは大変有意義であった。 こうした活動によって、立地自治体だけではなく、様々な地域や立場の方々が原子力発電所の課題を理解・共有し、向き合っていただくことを期待する。</p> <p>【星野 幸彦】 2011年の福島原発事故から十数年が経過しているが、現地においては様々な課題が山積していて、福島県民が安心・安全の暮らしを取り戻す完全復興までには更に多くの時間を要すると言わざるを得ない。 そのためには、困難な廃炉というミッションを確実に進めていくことが重要であることは言うまでもないが、そうした困難な作業に従事している労働者の被爆問題や、福島県内で暮らす方々の健康被害、海洋（自然）における影響など、詳細なデータを元に、地道に調査を続けていくことの重要性も改めて認識した。</p>

【研修会】



【被災地スタディツアー】

